

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 22年 3月
レジメン名	ALL202-U 維持療法4		
疾患名	急性リンパ性白血病	適応の備考	麻痺性イレウスが生じたら、次回以降、このレジメンを使用しない。
適応分類	維持・強化療法		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク day8:中等度、それ以外は最小度
抗がん剤投与量・投与日	オンコビン1.5mg/m ² day1.8.15、ピノルピン25mg/m ² day8、ロイナーゼ10000単位/m ² day1.8.15、プレドニン錠40mg/m ² day1-14		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	グラニセトン注バッグ1mg/50mL	1 本 / body	30分								●																				
	点滴静注		/	/																												
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30分	●															●												
	点滴静注	ルートキープ用	/	/																												
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●							●								●												
	点滴静注	オンコビン注	1.5 mg / m ²	30分	●							●								●												
最大投与量は2mg/body/回。																																
4	主ルート	5%ブドウ糖液100mL	1 本 / body									●																				
	点滴静注	ピノルピン注	25 mg / m ²	60分								●																				
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●							●								●												
	点滴静注		/	/																												
6	なし	5%ブドウ糖液20mL	0.1 本 / body		●							●								●												
	筋肉注射	ロイナーゼ注	10000 単位 / m ²		●							●								●												
7	なし	プレドニン錠5mg	40 mg / m ²		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●													
	—		/	/																												

分1 医師の指示通り

- 【投与上の注意】
- オンコビン: Grade3以上の末梢神経障害の時は減量または中止。
 - オンコビン: T-Bilが2.0mg/dL以上では中止。1.5mg/dL以上2.0mg/dL未満で半量投与。
 - オンコビン: 投与時にイレウスが見られる場合は中止。
 - ピノルピン: 溶解は5%ブドウ糖液のみ。
 - ロイナーゼ: ロイナーゼ中止例には、代わりにロイケリンを50mg/m²(経口)で28日間投与する。
 - ロイナーゼ: 生食で直接溶解すると白濁するおそれがあるので5%ブドウ糖液を使用する